

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-1122											
施設名	敬愛シンフォニー保育園											
施設所在地	八王子市散田町4-7-11											
法人名	社会福祉法人 敬愛学園											
活動期間	令和	8	年	1	月	から	令和	8	年	3	月	
活動内容の公表		活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。										
	公表したホームページ等のURL				https://www.keiaigakuen.com/hoikuen/symphony/							

2. 活動報告（注1）

番号	1									
テーマ	自然									
実施回数・期間 （注2）	合計4回（内訳：1月6日、1月7日、1月13日、3月30日）/令和8年1月から令和8年3月まで									
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス		3歳児クラス		4歳児クラス	
		人		人		人		人	20	人
活動内容 （注3）	井戸の掘削工事を間近に見たことにより、「井戸水」と「水道水」の違いや、地面の中にどうして「水」があるのか、「井戸」の構造や掘削作業に係る時間と掘る深さの関係や掘削工事に携わる職人さんとの交流を通して、探究を深めていった。また、ビオトープにも井戸水が供給されていることに驚き、自分達以外にも水は必要な物だと気が付いた。最終的には、掘りあがった井戸水を使って、砂場あそびを楽しんだ。									
活動における チェックリスト	✓ グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。									
	※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 子ども達の疑問を、子ども達同士が納得するまで話し合い・語り合う時間なかで、電子黒板を使用したり担任がファシリテーションを行い、主体的に発言しやすい環境・機会を設けた。									
	✓ 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。									
	※記録をどのように行ったか 活動中の様子や、疑問に思ったものを写真に撮り、フィードバックの時に電子黒板に映しながら子ども達の発言も書き留め、ドキュメンテーションとして記録に残した。									
	✓ 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。									
	※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 保育者は子ども達の主体性をもとに活動が展開できるように、必要物品を揃えるなど環境を整え、疑問解決に向けて見守ることを心掛けた。									
	✓ 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。									
	※振り返りの実施方法 撮影した写真をもとに、午睡の時間等を活用して、クラス担任間で活動の振り返りを行った。子ども達一人ひとりが何に関心を持ち、どのような仕草や表情が見られたのかを共有する時間を持った。									
	✓ 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。									
	※教諭や保護者等への共有方法 保護者には連絡アプリを利用し、ドキュメンテーションを毎日配信し、エントランスの掲示板にも掲示することで他クラスの保護者も閲覧できるようにした。職員にも配信をし共有した。									
	✓ 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。									
	※継続的な実施のための工夫 活動の中で子ども達の会話やつぶやき等の言葉、疑問に着目し、環境構成や活動内容を担任間で話し合い、工夫し、探究活動を発展した。									

（注1）活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

（注2）「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

（注3）「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1122
施設名	敬愛シンフォニー保育園
施設所在地	八王子市散田町4-7-11
法人名	社会福祉法人 敬愛学園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

開園当初から親しんできたビオトープを、子ども達がより主体的に自然に関わることで活動の幅が広げられるよう環境整備を進めている。その一環として井戸新設の申請を行い、実際の掘削工事を間近で見る機会を得た。工事の様子を見た子ども達からは、「水はどこから出てくるの?」「どれくらい深く掘るの?」など、井戸や水、自然環境へのさまざまな疑問や興味が生まれた。こうした子ども達の気付きや探究心を大切に、自然との関わりをさらに深めていけるよう、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

1月～

- ・掘削工事が始まったことを知り、見学を開始する。
- ・「井戸」や地下水等について、考察したり疑問をもったりしながら調べ始める。
- ・工事を進める職人さんとの会話を通して、気づきや考察を深め、さらに調べ始める。
- ・完成を楽しみにしながら、井戸水で何がしたいかを話し合う。

3月～

- ・実際に井戸水を使って、砂場あそびを楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

掘削作業を安全に見学できるよう、時間や見学場所に配慮しながら環境を整えた。また、子ども達が活動の様子を振り返ったり、自分達の疑問を深めたりできるよう、デジカメや電子黒板を活用して工事の様子を共有した。さらに、実際に工事を行っている職人の方に直接話を聞く機会を設けることで、「どうやって掘るの?」「どこから水が出るの?」など、子ども達が感じた疑問を自ら言葉にし、主体的に探究できる環境づくりを行った。加えて、調べたことをみんなで共有したり話し合ったりする場を設けることで、子ども同士の気付きや学びが広がるよう配慮した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・園庭で井戸を作る工事が始まったことを知ると、子ども達から「井戸ってなに?」「どうやって作るのかな?」といった疑問の声が上がった。そこで実際に工事の様子を見学に行き、業者の方から工事の工程について話を聞くことで、さらに興味や関心が深まり、「もっと調べてみたい」という気持ちにつながっていった。

・子ども達は、井戸について調べる中で、「井戸水」と「水道水」の違いに気付き、それぞれの特徴について理解を深めていった。また、「雨の水が地下にたまって井戸水になる」ということを知り、水の循環や自然の恵みについて関心を持つ姿が見られた。さらに、SDGsの視点からも、水資源を大切にすることや災害時の備えとしての井戸の役割など、井戸への興味が広がっていった。

・活動を通して、雨が降ることの大切さや水の大切さに気付き、「井戸水をどんなことに使えるかな」と子ども達自身で考える姿が見られた。草花への水やりや水遊びなど、身近な活動の中で井戸水を取り入れながら、楽しんで活動に参加していた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

井戸工事が始まったことを知ると、「お砂場でお水遊びをするのがもっと楽しくなりそうだね」と期待に満ちた表情を見せていた子ども達。後日、重機が入って工事が進んでいる様子に気付き、「見に行きたい!」と興味を持ち、実際に工事の様子を見学した。見学後には、「井戸の水ってどこからくるんだろう」「土の中からお水が出てくるのかな」「土の中が見てみたいね」など、子ども達同士で自然に会話が広がり、「みんなで仕組みを調べてみよう」という姿につながった。調べたり話し合ったりする中で、「雨の水が井戸のお水になっているんだね」「水道のお水とは違う仕組みなんだね」「緊急時に水道が止まっても井戸のお水があったら安心だね」など、多くの気付きが見られた。また、「でも、お水は大切に使おうね」と、自分達なりに水の大切さについて考える姿もあった。保育者は、子ども達の疑問や気付きを受け止めながら、一緒に調べたり考えたりすることで、主体的な探究活動につながるよう関わった。また、水遊びを楽しむ中で、遊び方を工夫したり友達同士で協力したりする姿も見られ、水遊びがさらに発展していく様子が伺えた。

いどのこうじ



おすなばがもっとたのしくなるね
うみ、みずうみ、かわ、みなみのしま
えのしまが つくれるかな？

こうじは1にちておわるの？

→いっしゅうかんかかるんだって

ほるのは15メートル

おみずがとどくのは10メートル

くうきがないとおみずがうえに

あがってこれないんだって

どんないどになるんだろう？

こんなのがいいな



こどもえんさんのいろが
くろだからくろかなあ？
たのしみだね

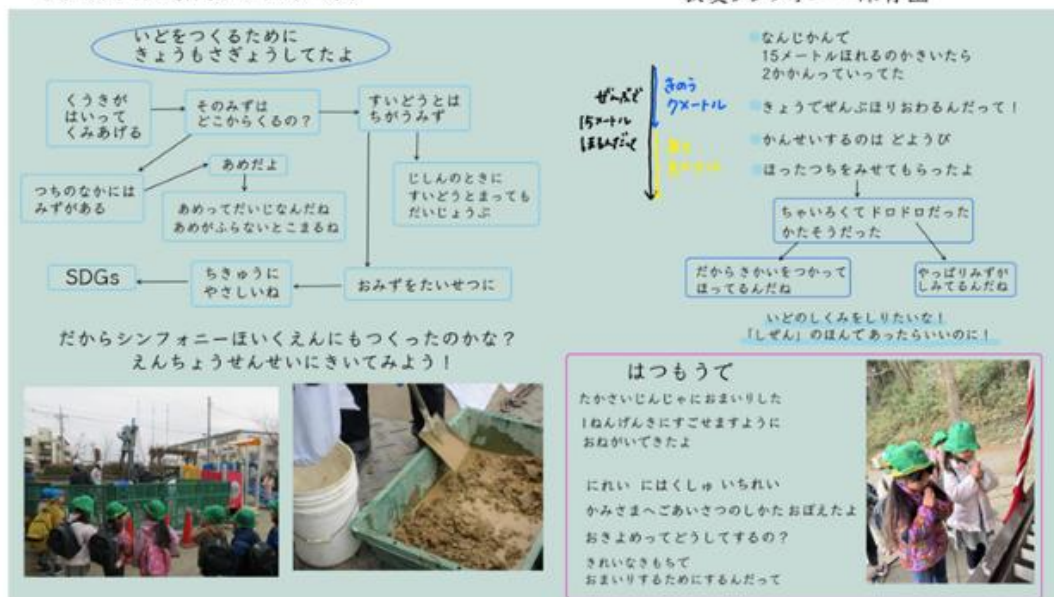
- こうじのきかいがかっこよかった
- した、うえってうごいてた
- コンクリートのすなのかわいていないのがきかいについてた
- みぎ、ひだりってこうごにまわってた
- ガガガーっておとがカミナリみたいだった
- 100キロくらいのちからでほるのかな？

今日の育ち合い・学び合い

きょうのそだちあい・まなびあい

1がつ7か(すいようび) レインボーぐみ

敬愛シンフォニー保育園



どうえんすると「ねえねえ！きょうもいっしょがきて いどをほってよ！」と、いどのこうじがすすんでいることに きょうみしんしんおこさまたち。あさのかいで『いど』について、みんなではなしをすると、「いどのみずってどこからくるの？」というきもちがうまれました。「きつとつちのなかにたまった あめをすいどってでてくるんだよ！」というこたえにたどりついたものの「それでそんなにたくさんのおみずがでてくるの？」「つちのなかってどうなってるんだろ？」「いどのしくみがしりたい！」「しらべてもむずかしいから、わかんないもんがあるに！」と、はなしでいたレインボーさん。こんどは「いどのしくみについて」みんなでしらべていきたいとおもいます！そのあと、コスモスさんといっしょに たかさいじんじやにいき、はつもうでをしました。しんけんひょうじょうでおまいりするすがたが、とてもほほえましかったです。

もうすぐかんせいかな？！



マンホールをあけてみた

したにパイプがあって
そこにみずがとおってるとおもう
つちのなかのみずを
パイプにあつめてみるかも

でもそのしくみはわからなかった

まわりのみずあつたけど
いどのみずとして
それがでてるのかな

マンホールのなかがあついたら
でてきたらとおもう
けつろっていうんだよ

コンクリートで
かためたところでは15メートルもない

15メートル ほんたうな
どうなってるんだろ

したのふんは どうなってるんだろ
みずがあるのかな？

ほってみたら？
もうコンクリートだからほれない

パイプがみずまで
つながってる？！

もしかしして
うみまでつながってる？

ポンプのところは
まだつづけてた

まだじゅんじゅつ
どうやってつかうかわからない
せつめいしがあるといいね

つちのなかをみたら
しくみがわかるのにね

ありになって
みにいけたらいいのに！

みんなで
しくみをしらべよう

おもしろいせんせいや
えんちょうせんせいなら
なにかしてやるかも！



ちゅーりっぷ

- いちばんさいしょにでたのは
おもしろくなった
- おとうさんゆびくいのにおきさ
- きみどりだったけどあかむらさき
だいへんしん
- はっけんしてすごかった
- 3つめのめがでて うれしかった



せんじつ、いどのこうしをしようしやのかたに「どようびにはかんせいするよ」とうかがっていたので、いどがどうなっているのか みんなでみにいきました。マンホールのふたをあけて
なかをのぞいてみると、きょうみしんしんでのぞきこんでいたおこさまたち。「15メートルほんたうな どうなってるんだろ」「このコンクリートのしたは、どうなってるんだろ」「いどのしくみがしり
たい！」と、フィードバックでは「いどのしたはどうなっているのか」をみんなで見ながら、「きょうこうなんじやない？」と、おもしろいあがりでした。「ありになってつちのなかをみにいけたらいいの
にね」とおはなしするかわいいレインボーさん。いどをつかってみることをもてたのしみをしているようです。まだまだ、いどへのたんさゆうはつづいていそうです。

いどみずあそび

プレイガーデンのいどかんせいした



- ピオトープのみずも
かれてきたまらるところがしずんで
いどみずがでてるようになったんだって
- きんぎょもあんなにだね
- いどみずつかいすぎると
ピオトープのふんくなるかも
だいじにつかうね

イメージとちがった

ポンプのやつだとおもってた
ばしやがせまかったから
つれなかったのかも

いろんないどがあるんだね



- おしろづくり
トンネルづくり
- ながしたかったけど
ながれなかった
- うみほどみずをためたい
- おおきなじょうろがほしい

ちかすいをすいあげて
みずがでる

15メートル
ほんたうなところに
みずながれてるんだね

「ゴー」「ザー」って
みずをすいあげるおとした



たけをつかって
みずをながしたらどう？

たけて
みずのすべりだいを
つくりたい

あつくなってきたから
たくさん
みずあそびをしたい！

いろいろ
やってみよう！

みんながたのしみしていた「いど」がプレイガーデンにかんせいしました！きょうは あたかいうこうだったので、いどみずをつかってすなあそびをたのしみしました。いどみずのしくみに
めをかがやかせながら、「すこいすこい！」「みずをだすと、ゴーっておどがきこえる！」「まさか、つちのしたにこんなみずがあるなんてしらなかった！」「おれようこびでした！」「めな
いみずをみずあそびにつかえば、すいどうのみずがへらないから ちきゅうにやさしいね！」「ピオトープのみずがかれないようにできるなんて！これできんぎょさんあんなにだね！」「み
んなのやさしいきもちがあふれていました。なつむけて、やってみようあそびがまたたくさんつづきました。みんなというやってみよう！

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

これまで保育の中で、水を大切に使う意識を伝えてきたが、井戸水に関する活動を通して、子ども達自身が水の大切さに気づき、意識する姿が見られるようになった。自然との関わりを通して、SDGsを身近に感じられる環境づくりにつながっていると感じている。また、実際に見て感じたことをもとに、「なぜだろう」「どうしてだろう」と自分達で考える中で、さまざまな疑問や興味が芽生えていた。その疑問について探究し、活動後のフィードバックの場で子ども達同士が共有することで、学びをさらに深めることができていた。さらに、「次はこんなことをやってみたい」という新たな意欲へと自然につながる姿も見られ、子ども達の主体的な学びを広げていく良い経験となった。今後も、子ども達の気づきや学びを大切にしながら、身近な自然に興味や関心を持ち続けられるような保育を継続していきたい。